

令和8年度第2回秋田市上下水道事業経営審議会会議内容

開催日時	令和8年5月26日(火) 9:30~11:40		
開催場所	秋田市上下水道局川尻庁舎4階大会議室		
出席委員数	13人	欠席委員数	2人
傍聴者数	3人	報道機関	5社
議事	<p>改定の基本方針と料金表および使用料表について(継続審議)</p>		
委員意見等	<p>・大規模事業の財源目標に旧仁井田浄水場の撤去費用を含んでいないが、令和14年度までに積み立てる必要はないものの将来的に必要なのであれば、そのことを明示してはどうか。 →撤去方針によって費用も変わってくるので、確認して追記する。</p> <p>・下水道は大規模事業の財源目標を記載していないが、不要なのであればそのことを明示してはどうか。 →国庫補助金等の外部財源が多く見込まれるため記載していないので、その点を追記する。</p> <p>・脱炭素先行地域に選定された秋田臨海処理センター等の事業効果はどうか。値上げに対し、少しでも前向きな情報があっても良いのではないかと。 →消化ガス発電等による収入を維持管理費に充当することで、市町村が支払う負担金の上がり幅が抑制されるものと認識している。</p> <p>・独立採算制の趣旨は理解しているが、まちづくりなどの目線から税金等の市全体で負担するような仕組みはできないか。 →現在の仕組みでは難しい部分になるが、今後もし道路や橋などの共有財産として上下水道を捉えることが全国的な流れになれば、税金等の考えも見えてくるかもしれない。</p> <p>・逡増度について、①最大単価／②最小単価に加えて①最大単価／③生活用を除く最小単価を記載した意図は何か。 →一般的には①最大単価／②最小単価で求められるが、最小単価は少量使用者向けに配慮した単価を設定しており、全体で議論する際には除くべきと考え、①最大単価／③生活用を除く最小単価を併記した。</p> <p>・資産維持率を1%にした水道の料金表で最高単価を配慮した(360円→326円)ことについて、①最大単価／③生活用を除く最小単価の逡増度を記載することで理解しやすくなると思う。 →意見のとおり追記する。</p> <p>・諮問内容から下げた提案になっているが、この差は次回改定に先送りされるのか。また、維持管理費の削減努力についてもPRしたほうがよい。 →次回改定に先送りされる。運営費の削減は、ダウンサイジング等の他にも広域化や脱炭素化なども加えていきたい。</p> <p>・資金残高目標値が令和14年度しかないので、令和11年度も追記してはどうか。 →意見のとおり追記する。</p> <p>・受益者負担の原則が市民に浸透しておらず、スタジアムや他の公共工事と混同しているように見受けられる。上下水道が自分たちのお金で成り立っていることを、上手く伝えていってもらいたい。 →独立採算の趣旨について、丁寧に伝えていきたい。</p> <p>・支払っている料金の何%が何に使われているかを見える化してはどうか。 →理解を得ていく手段の1つとして、内訳の明示を検討する。</p>		

令和8年度第2回秋田市上下水道事業経営審議会会議内容

開催日時	令和8年5月26日(火) 9:30～11:40		
開催場所	秋田市上下水道局川尻庁舎4階大会議室		
出席委員数	13人	欠席委員数	2人
傍聴者数	3人	報道機関	5社
議事	改定の基本方針と料金表および使用料表について(継続審議)		
委員意見等	<p>【答申内容の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改定期期 令和9年4月1日 ○料金算定期間 3年間(令和9～11年度) ○平均改定率 水道:約32%、下水道:約18% ○料金・使用料体系 今回説明で概ね妥当 ○附帯意見 あり(内容は今後調整) <p>【答申書作成の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務局で叩き台を作成 ②会長が叩き台を精査して素案を作成 ③素案を事務局から委員へ送付して内容確認 ④委員から事務局へ素案に対する意見を送付 ⑤次回審議会で最終案を掲示、承認後に答申 <p>【答申書に対する意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諮問内容から改定率等が変わっており、それに伴う影響なども丁寧に記載する。 ・答申書は基本的な部分を記載し、より詳細な情報は審議会資料のURL等を記載する。 ・Excel等に料金を入力することで、支払っている料金の何%が管路更新や災害対応に使われるかなどを円グラフで示すことができれば、前向きに興味を持ってもらえると思う。 ・事務局で整理した項目を参考に審議会で記載方法を検討する。 ・箇条書きは重要な意見を埋没させてしまうかもしれないので、項目毎に冒頭で全体像を示して工夫する。 		